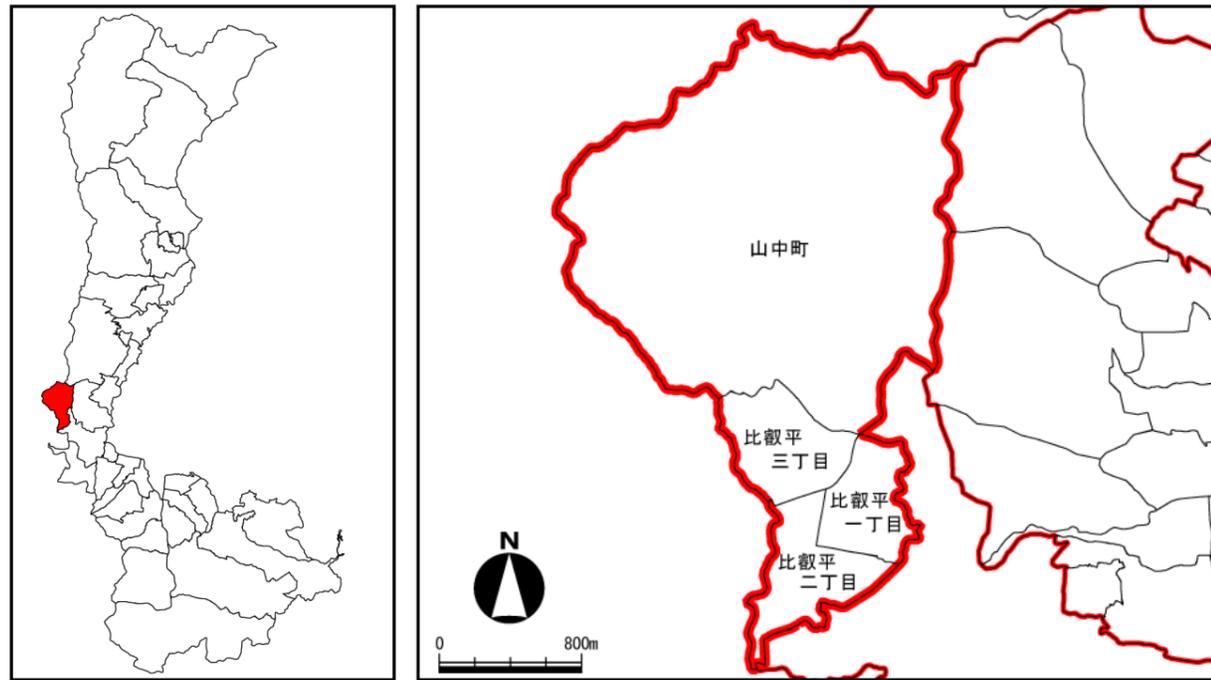


■ 学区の概況



<町丁名>

山中町、比叡平一丁目、比叡平二丁目、比叡平三丁目

(注) 学区界や町丁名は、統計や編集の都合により必ずしも通学区域等とは一致しない場合がある。また、記載の町丁により、避難所等を割り当てるものではない。

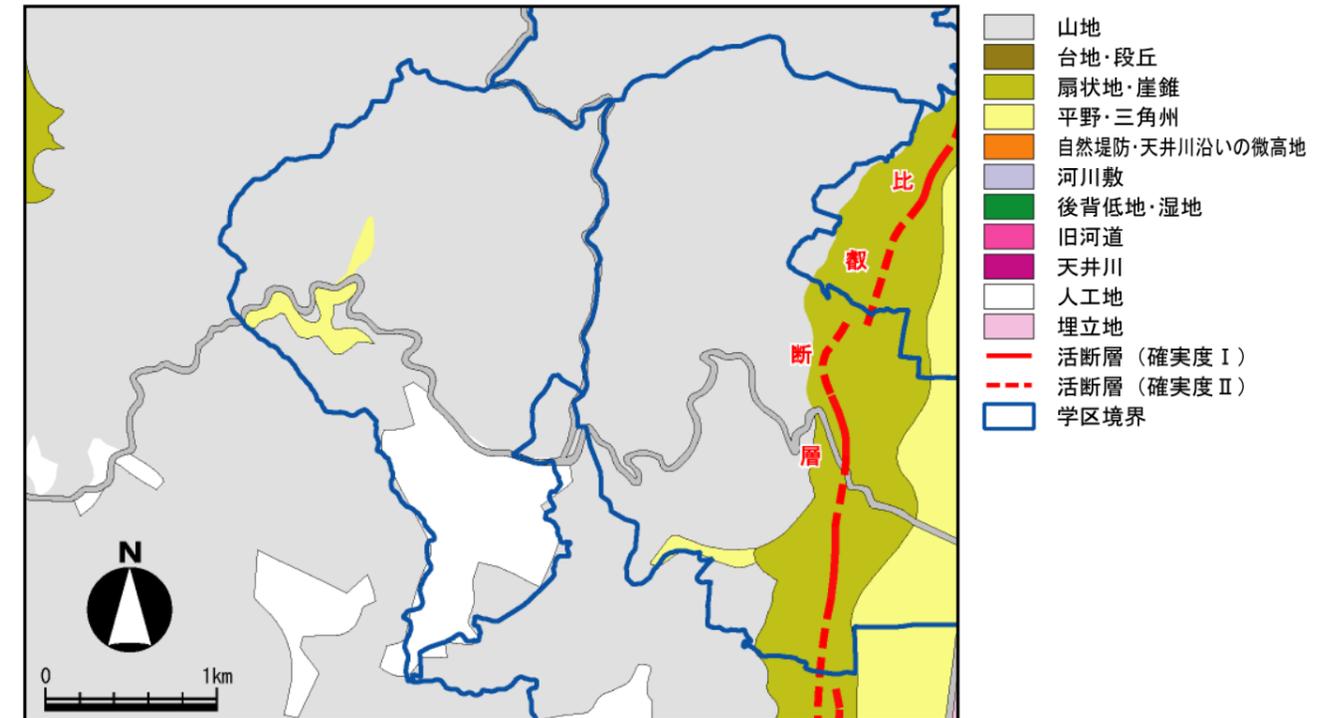
<学区の特徴>

山中比叡平学区は比叡山系四明ヶ岳の南側に位置し、鼠谷川が形成する狭小な谷筋にある山中町と、昭和42年から山林原野を造成し住宅地とした比叡平地域からなっている。

大津から京都に通じる峠の位置にあり、平安京が造営されると、この谷筋は志賀の山越(今道越、山中越)として知られるようになり、崇福寺参詣や物資輸送のルートとしても多くの人々が往来した。

また、本地域は自然環境も豊かで、比叡平から眺める琵琶湖周辺の景色は素晴らしい。

■ 地形・地質の概要



(注) 図中の地形・地質については、防災アセスメント調査を行った時点のものである。
出典：大津市防災アセスメント調査業務報告書 (H17.3)

<地形の特徴>

- 山中比叡平地域の地形は大部分が山地であり、山中町の南部は平地、学区南部の比叡平は人工地に区分されている。この地域は比叡山の西側斜面にあたり、河川は琵琶湖へ注がず、京都市左京区で白川に合流する。

<地質の特徴>

- 本学区の山地は、比叡花崗岩からなる。これは中生代白亜紀の火成活動により形成されたものである。比叡山地は40万年前以降に急激に隆起し形成された山地であり、西側に傾きながら隆起したため稜線より東側の斜面は急であるが、西側の斜面は緩やかである。このような構造は傾動地塊と呼ばれる。
- 地質学的には隆起してからの時間があまり経っていないため、特に山頂付近の西側斜面は比較的緩やかであり、このような斜面を人工造成して開かれたのが比叡平地区である。

■ 建物の状況

町丁名	住宅密集度 (戸/ha) (注1)	不燃領域率 (%) (注2)	木造率 (%)	旧耐震木造建物 /木造建物 (%)
山中町	48.9	99.2	88.0	84.0
比叡平一丁目	41.9	61.8	65.8	31.9
比叡平二丁目	44.4	69.2	66.0	39.0
比叡平三丁目	50.0	69.4	66.0	27.2
学区平均	45.6	92.4	67.5	37.2
出典	1, 2	1, 2	2	2

(注) 表中の数値は、小数点以下第二位を四捨五入した値である。

(注1) 市街化区域を対象とした。

(注2) 算出の際に用いる区域面積・空地面積・宅地面積は便宜上、市街化区域及び市街化調整区域の面積を使用した。

出典 1: 大津湖南都市計画基礎調査 (H30.2) 土地利用現況

2: 資産税データ (R4.4)

- 住宅密集度の学区平均は45.6戸/haで市平均(全学区の平均)の59.3戸/haを下回り、市内で5番目に低い。
- 不燃領域率の学区平均は92.4%で市平均の93.9%より低い。
- 木造率は、山中町が88.0%で最も高く、比叡平一丁目65.8%で最も低い。学区平均は67.5%で市平均72.7%より低い。
- 旧耐震木造建物割合は、山中町が84.0%で最も高く、比叡平三丁目27.2%で最も低い。学区平均は37.2%で市平均40.3%より低い。

■ 人口の状況

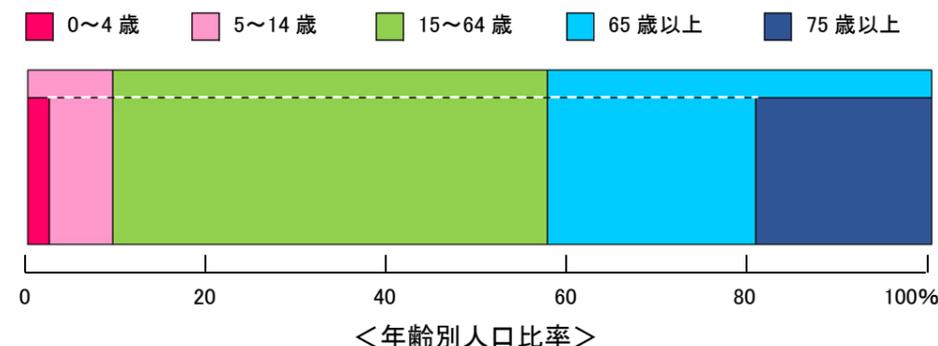
項目	人口等	単位	備考	割合 (%)	出典
学区人口	2,725	人		—	1
年齢別 (0~4歳)	64	人	学区人口に対する割合	2.3	1
年齢別 (5~14歳)	189	人	学区人口に対する割合	6.9	1
年齢別 (15~64歳)	1,313	人	学区人口に対する割合	48.2	1
年齢別 (65歳以上)	1,159	人	学区人口に対する割合	42.5	1
年齢別 (75歳以上)	532	人	学区人口に対する割合	19.5	1
世帯数	1,284	世帯		—	2
1世帯当たり人口	2.1	人/世帯		—	2
要介護認定者	154	人	学区人口に対する割合	5.7	3
身体障害者 (要配慮者)	31	人	学区人口に対する割合	1.1	4
知的障害者 (要配慮者)	5	人	学区人口に対する割合	0.2	4
外国人居住者	66	人	学区人口に対する割合	2.4	5

(注) 1世帯当たり人口、学区人口に対する割合は、小数点以下第二位を四捨五入した値である。

出典 1: 年齢別・学区別人口統計表 (R4.3.31現在)、2: 学区別人口・世帯数の年別推移 (R4.3.31現在)

3: 学区別要介護認定者 (R4.4.30現在)、4: 大津市データ (R4.3.31現在)

5: 住民基本台帳情報からの統計 (R4.3.31)



- 人口は学区南部の山地を開拓した人工改変地に集中している。
- 学区人口は、市内で4番目に少ない。
- 高齢者(65歳以上)は1159人、乳幼児(0~4歳)は64人であり、学区人口に対する割合はそれぞれ42.5%、2.3%である。
- 高齢者の学区人口は、市内で5番目に少ない。
- 乳幼児の学区人口は、市内で4番目に少ない。
- 高齢者の学区人口に対する割合は市平均(27.2%)より高く、乳幼児の学区人口に対する割合は市平均(3.9%)より低い。
- 要介護認定者は154人(5.7%)、身体障害者(要配慮者)は31人(1.1%)、知的障害者(要配慮者)は5人(0.2%)である。
- 外国人居住者は66人(2.4%)である。



■ 災害関連規制状況

災害関連規制	件数（箇所）、面積	出典
急傾斜地崩壊危険箇所 ^(注1)	21 箇所	1
土石流危険渓流 ^(注1)	14 箇所	1
土砂災害特別警戒区域 ^{(注1)(注2)}	53 箇所	2
土砂災害警戒区域 ^{(注1)(注2)}	68 箇所	2
山地災害危険渓流（山腹） ^(注1)	10 箇所	3
山地災害危険渓流（渓流） ^(注1)	2 箇所	3
雪崩危険箇所 ^(注1)	0 箇所	4
地すべり防止区域 ^(注1)	0 箇所	5
地すべり危険箇所 ^(注1)	0 箇所	1
浸水想定区域 ^(注3) (0.0m~0.5m)	0 m ²	6
(0.5m~1.0m)	0 m ²	6
(1.0m~2.0m)	0 m ²	6
(2.0m~)	0 m ²	6
特に重要な水防区域 ^(注1)	0 箇所	7
重要水防区域 ^(注1)	0 箇所	7
防災重点農業用ため池 ^(注1)	0 箇所	8

(注1) 危険箇所、区域等の件数は他学区にわたって分布するものも含む。

(注2) 複数の区域をまとめて1つの警戒区域として公示されている場合があるが、ここではまとめられた複数の区域を単独の区域として計上したため、公示された区域数と異なる。

(注3) 浸水想定区域は、琵琶湖の水位がB.S.L. +2.6mまで上昇した場合を想定しており、雨の降り方や水位の状況により浸水深は想定と違う場合がある。

出典 1: 滋賀県砂防課 (R3.7.16) 2: 滋賀県砂防課 (R3.2)
 3: 滋賀県森林保全課 (R3.11) 4: 滋賀県砂防課 (H24.12) 5: 農林振興課、砂防課 (H24.12)
 6: 淀川水系 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)(瀬田川上流: H31.3.19、瀬田川下流: H29.3.21、琵琶湖: H31.3.19、草津川: R1.10.1、大戸川: H31.3.19)
 7: 琵琶湖河川事務所 (R2.6) 8: 大津市産業観光部 (R3.12)

<防災上の特性>

- 山中比叡平学区は比叡山地の山頂に位置し、他の学区の中心部から離れている。
- 学区内には緊急輸送道路に指定されている道路がなく、琵琶湖側もしくは京都側へ移動する際には、山間部の道路を使用する必要がある。仮にこれらの道路が災害によって寸断された場合の対策も視野に入れる必要がある。
- 山中比叡平学区の大部分は山地もしくは丘陵地であり、土石流危険渓流や山地災害危険渓流、山地災害危険渓流に指定されている箇所が存在している。特に土石流危険渓流の多くは集落に向かって分布している。
- 急傾斜地崩壊危険箇所に指定されている地域には住宅地も含まれており、豪雨時の斜面災害や土砂災害に留意する必要がある。また、地震時には、これらの斜面で崩壊が発生して2次的災害が発生する可能性もある。
- 主要な道路は主要地方道 30 号であるが、主要地方道 30 号沿いは土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所に指定されており、豪雨や地震時に道路沿いで自然災害が発生した場合には、物資輸送の問題などが生じる可能性があることに留意する必要がある。

■ 防災関連施設情報

<指定緊急避難場所・指定避難所>

種類	名称	対象とする災害の種類				所在地
		土砂	洪水	地震	火災	
指定緊急避難場所	比叡平小学校グラウンド	○	○	○		比叡平一丁目 45-1
	やまのこひろば (比叡平幼稚園・ひえい平保育園)グラウンド	○	○	○		比叡平一丁目 45-3
	住民交流・まちづくりセンター中庭		○	○		比叡平二丁目 39-4
	比叡平市民運動広場	○	○	○		比叡平一丁目 1063-9
	山中市民運動広場		○	○		山中町 1-12
指定緊急避難場所 兼 指定避難所	山中比叡平市民センター	○	○	○		比叡平三丁目 57-1
	比叡平小学校体育館	○	○	○		比叡平一丁目 45-1
	住民交流・まちづくりセンター	○	○			比叡平二丁目 39-4
	山中会館	○	○			山中町 1-12
指定避難所	(福) やまのこひろば (比叡平幼稚園・ひえい平保育園)			—		比叡平一丁目 45-3
	(福) 山中比叡平児童クラブ			—		比叡平一丁目 45-4

(注) 指定緊急避難場所：災害の危険から逃れるための施設又は場所。災害種別ごとに指定。

指定避難所：避難された方等に一定期間滞在してもらうための施設。

※(福)印は、福祉避難所を示しており、要配慮者の状況により開設します。

<市関連機関>

名称	所在地	電話番号
大津市役所	御陵町 3-1	523-1234, 528-2616
山中比叡平市民センター	比叡平三丁目 57-1	529-0146

<警察 110>

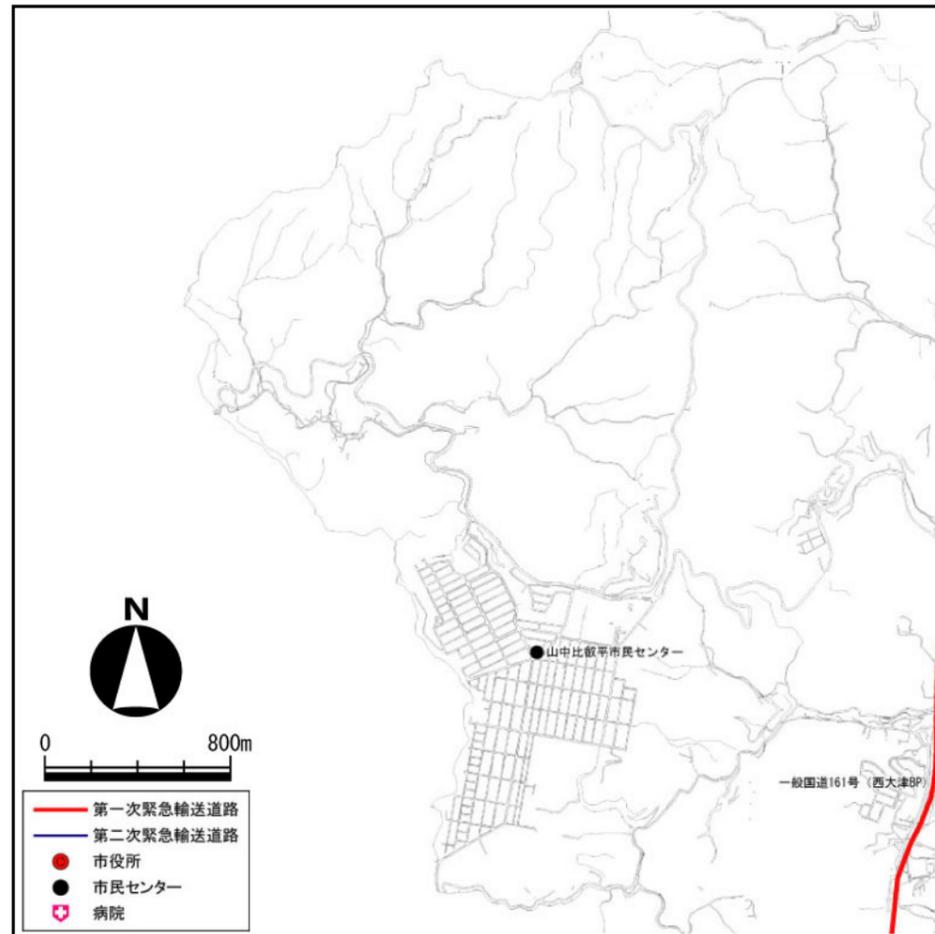
名称	所在地	電話番号
滋賀県警察本部	打出浜 1-10	522-1231
大津警察署	打出浜 12-7	522-1234

<消防 119>

名称	所在地	電話番号
大津市消防局	御陵町 3-1	522-0119
中消防署	御陵町 3-1	525-0119
山中比叡平分団	山中町 1-12	529-2635



<緊急輸送道路>



(注) 緊急輸送道路とは、大規模災害時に応急対策活動の根幹である「人命の確保」「被害の拡大防止」「物資等を確保」を迅速・確実に図るため、緊急指定する輸送用道路のことであり、公安委員会が認める車両のみが通行可能となる。

<医療施設>

種別	名称	所在地	電話番号
救急告示	基幹災害医療センター	大津赤十字病院	長等一丁目 1-35 522-4131
	地域災害医療センター	大津市民病院	本宮二丁目 9-9 522-4607
病院		大津赤十字志賀病院	和邇中 298 594-8777
		琵琶湖大橋病院	真野五丁目 1-29 573-4321
		滋賀病院	富士見台 16-1 537-3101
		滋賀医科大学附属病院	瀬田月輪町 548-2111

■ 地震災害危険度予測

<地震被害想定結果>

● 琵琶湖西岸断層帯地震

被害想定ケース	建物棟数	人口	建物被害			人的被害								
			全壊棟数	半壊棟数	被害棟数	死者数			負傷者数			重症者数		
						早朝	昼間	夕刻	早朝	昼間	夕刻	早朝	昼間	夕刻
ケース1	1,582	3,141	0	59	30	0	0	0	6	3	4	1	0	0
ケース2	1,582	3,141	0	25	12	0	0	0	3	1	2	0	0	0
ケース3	1,582	3,141	0	33	16	0	0	0	4	2	2	0	0	0

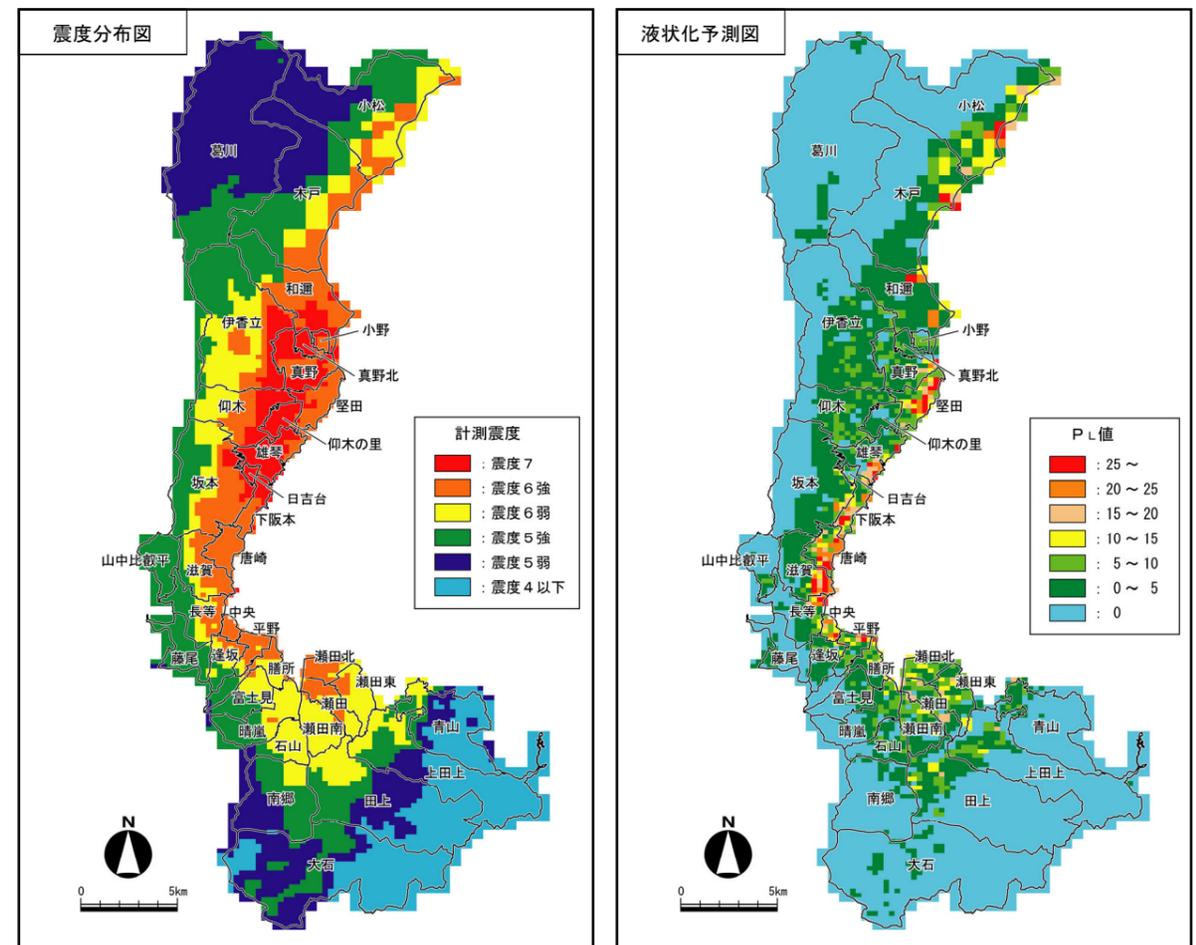
被害想定ケース	地震火災 炎上出火件数			生活支障 避難者数
	早朝	昼間	夕刻	
ケース1	0	0	0	31
ケース2	0	0	0	14
ケース3	0	0	0	19

(注) 表中の建物棟数及び人口は、地震災害危険度予測を行った時点の数字である。

出典 大津市防災アセスメント調査業務報告書 (H17.3)

<震度分布及び液状化予測図>

● 琵琶湖西岸断層帯地震 (ケース2)



出典 大津市防災アセスメント調査業務報告書 (H17.3)

(PL ≥ 10 構造物に影響の出る可能性のある液状化が発生
PL ≥ 20 激しい液状化)

志賀町地震防災アセスメント基礎情報調査業務報告書 (H18.1)

